

春の雲	秋の雲空色白に広がりぬ	2022. 6. 6	夕焼	夕焼を新幹線で追ひかける	2022. 9. 24
	秋の雲くもりといへど色白に			夕焼に線路ばかりの車輛基地	
	秋の雲色白に空広がりぬ	2022. 6. 11	夕焼	夕焼に車輛少なき車輛基地	2022. 9. 26
	秋の雲みな色白に広がりぬ			夕焼に車輛乏しき車輛基地	
	色白に生れて間もなき春の雲			夕焼に車両乏しき車両基地	
	秋の雲明るく白く広がりぬ			夕焼に閑散たるや車両基地	
	色白に生れて浮ぶ春の雲	2022. 9. 24	素麺	夕焼に閑散として車両基地	2022. 9. 26
	色白に生れて春の雲うかぶ			夕焼に閑散たるや車輛基地	
	色白は生れつきなる春の雲	2022. 9. 25	帰省	素麺に贅を尽して皿小鉢	2022. 9. 26
	色白は生れ付きなる春の雲			素麺に贅を尽して鉢小鉢	
	色白は生れ付きなり春の雲	2022. 9. 26	帰省	素麺の食後に贅を尽したる	2022. 8. 27
	色白に生れて空へ春の雲			縁側に素足親しく歩むなり	
	色白に生れし幸や春の雲	2022. 9. 29	夏休	縁側に素足親しく歩くなり	2022. 9. 23
	色白に影差すことも春の雲			縁側に素足涼しく歩くなり	
色白の身の軽々と春の雲	縁側を素足涼しく歩くなり				
色白の身を軽々と春の雲	縁側を素足すずしく歩くなり				
色白にしてやはらかな春の雲	2022. 9. 30	夏休	縁側を素足で歩く帰省かな	2022. 9. 30	
色白の軽く柔らか春の雲			縁側をすたすた歩く帰省かな		
色白の軽くやはらか春の雲	2022. 9. 25	夏休	庭先の火薬遊びや夏休	2022. 9. 30	
色白のやほらかさうな春の雲			火遊びや火薬遊びや夏の夜		
毛氈はお日さまの色お雛さま			火遊びや火薬遊びや夏の星		
雛祭	毛氈はお日さまの色おひなさま	2022. 9. 25	夏休	庭先の火遊び楽し夏休	2022. 9. 30
	毛氈はおひさまの色おひなさま			庭先に父母と火遊び夏休	
	毛氈はおひさまの色おひなさま			庭先に母と火遊び夏休	
				庭先で母と火遊び夏休	

天の川	金山も銀山もなし天の川	2022. 9. 25	短日	自転車の後ろ寂しや秋の暮	2022. 9. 25
	金山も銀山もある天の川			自転車の荷台に子あり秋の暮	
	銀山のいくつ崩れし天の川			自転車の後ろに乗せて秋の暮	
	銀山のいくつ崩れて天の川			自転車の荷台に乗つて秋の暮	
	銀の山のいくつ崩れて天の川	2022. 9. 26		自転車の後ろに乗つて秋の暮	2022. 9. 26
	銀の山いくつ崩れて天の川	2022. 9. 29		自転車に乗せられて行く秋の暮	
子規忌	亡骸で垢擦り落とす糸瓜かな	2022. 9. 28		乗せられて自転車の行く秋の暮	
	亡骸の糸瓜束子の軽さかな	2022. 9. 29		自転車に乗せられ帰る秋の暮	
	亡骸の糸瓜束子の軽きこと			自転車の後部座席や秋の暮	2022. 9. 27
	亡骸の糸瓜束子の軽さこそ			自転車の荷台に隠れ秋の暮	
	糸瓜忌の糸瓜束子の軽さかな			自転車や子をおぶひ行く秋の暮	
	子規の忌の糸瓜束子の軽さかな			自転車や子を背負ひ行く秋の暮	
	子規の忌の糸瓜たはしの軽さかな	2022. 9. 30		おぶはれて母の自転車秋の暮	
	子規の忌の糸瓜たわしの軽さかな			おぶはれて自転車早し春の暮	
	子規の忌のへちまたはしの軽さかな			おぶはれて自転車速し春の暮	
	子規の忌の束子のへちま軽きかな			おぶはれて母の自転車暮早し	
	子規の忌のへちまの束子軽きかな			おぶはれて自転車早し暮早し	2022. 9. 29
	子規の忌のへちま束子のこの軽さ				
	子規の忌のへちまのたわし軽きかな			冬ざれ	冬ざれに着る丸首のトレーナー
子規の忌のへちま束子の軽きかな				冬ざれや丸首被るトレーナー	
	子規の忌のへちま束子の軽きかな			冬ざれに買ふ丸首のトレーナー	2022. 9. 26
糸瓜	なきがらで垢擦り落とす糸瓜かな	2022. 9. 29	小春	小春日の一句を得たる思ひかな	2022. 9. 24
桃	桃色は桃の色なり甘さうな	2022. 9. 27		小春日の既に一句を得し如し	
	桃色は桃の実の色甘さうな			小春日の既に一句を得し思ひ	
	桃色は桃の実の色あまさうな				
	桃色は桃の実のいろ甘さうな	2022. 9. 28	寒の入	人日を待ち切れずはや寒の入	2022. 9. 23
				人日を蹴散らすやうに寒の入	
玉蜀黍	玉蜀黍を食はせて絞る牛の乳	2022. 9. 27		人日に断りもなく寒の入	
小豆	日本の餡の多さよ豆の秋	2022. 9. 27		狼藉や松の内なる寒の入	
	日本に餡の色々豆の秋				
	日本に餡子の幸や豆の秋	2022. 9. 28			
	日本に餡子の幸や新小豆				
	日本に餡子の幸や栗・小豆				
	日本に餡子の幸や小豆炊く	2022. 9. 29		雪	画用紙のざらりと白し富士に雪
	日本に餡子の幸や小豆煮る				

枯野	岩ひとつ祀られてゐる枯野かな	2022. 9. 25	炭	赤々と山が消え炭灰となる	2022. 9. 23
	岩ひとつ祀る枯野でありにけり			赤々と消えゆく山や炭は灰	
	岩ひとつ祀る枯野の大いなる	2022. 9. 26		赤々と消えゆく山や炭灰に	
	岩ひとつ祀る枯野を通り過ぎ			赤々と山が燃え炭灰となる	
	岩ひとつ祀る枯野を通るなり			既にして灰を秘めたる炭熾る	
	岩ひとつ枯野の中に祀らるる			赤々と山燃え尽きて炭灰となる	
	岩ひとつ松一本を枯野かな			山赤く燃え尽きて炭灰となる	
	岩ひとつ松一本を枯野中			山赤く燃え尽きて炭灰になる	
	岩ひとつ松一本を枯野にて	2022. 9. 27		山赤く燃えくづほれて炭は灰	2022. 9. 26
	岩ひとつ松一本が枯野の目			山赤く燃え崩れてや炭は灰	
	岩ひとつ松一本が枯野の眼		クリスマス	きらきらのための聖樹の緑色	2022. 6. 25
	岩ひとつ松一本が枯野の臍		マス	きらきを吊るす聖樹の緑色	
	岩ひとつ松に侍りし枯野かな			きらきを吊るす聖樹の深緑	2022. 8. 27
	岩ひとつ松に寄り添ふ枯野かな			きらきを吊す聖樹の緑色	2022. 9. 26
	岩ひとつ松一本を枯野行		枯草	冬ざれに枯草色の輪ゴムかな	2022. 9. 25
	岩ひとつ松一本を枯野道			冬ざれに輪ゴムの力尽きたるも	
	岩ひとつ松一本が枯野道			枯草と同じ色なる輪ゴムかな	2022. 9. 26
岩ひとつ松一本を枯野に見			枯草と同じ色して輪ゴムかな		
岩ひとつ松一本を見つ枯野			枯草と同じ色してゴムバンド		
岩ひとつ松一本を見て枯野			枯草と同じ色なるゴムバンド		
懐炉	懐に後生大事の紙懐炉	2022. 6. 25		枯草と同じ色して輪ゴムの輪	2022. 9. 29
	紙懐炉揉み手の中に暖かし	2022. 9. 22			
暖炉	お開きの句屑を燃やす暖炉かな	2022. 9. 25		関東や葱の白さに醤油濃し	2022. 9. 29
	初句会終へし句屑を暖炉へと	2022. 9. 26		関東や葱は真白に醤油濃し	
	めらめらと暖炉に燃ゆる句屑かな			関東や葱を真白に醤油濃し	2022. 9. 30
	めらめらと暖炉に炎ゆる句屑かな			蜜柑まだ剥けぬ幼なと思ひしが	2022. 6. 25
	めらめらと暖炉に焚べし句屑かな			蜜柑まだ剥けぬ幼なの指にほふ	2022. 9. 22
	投じたる句屑暖炉に炎ゆるかな			蜜柑まだ剥けぬ赤子が遊ぶ	2022. 9. 23
	投じたる句屑の炎ゆる暖炉かな				
	投じたる句会の屑や暖炉燃ゆ			水仙	2022. 9. 24
	投げ入れし句会の屑や暖炉燃ゆ	2022. 9. 27		洋裁も和裁も廃れ水仙花	
	擲つは句会の屑や暖炉燃ゆ	2022. 9. 30			
	擲てる句会の屑や暖炉燃ゆ				
	擲つは句会の屑よ暖炉燃ゆ				
	擲つは句会の屑ぞ暖炉燃ゆ				
	擲つは句会の反故よ暖炉燃ゆ				
	擲ちし句会の反故に暖炉燃ゆ				
	擲てば句会の反故に暖炉燃ゆ				

大晦日	大年の空を行くもの見ればあり ゆうゆうと空を行くもの年の夜 ゆうゆうと大年の青空を行く ゆうゆうと空を行くもの大晦日	2022. 9. 23	去年今	とんでもないことの静けさ去年今年	2022. 9. 29
			初鏡	初鏡一寸眼鏡を外し見る 初鏡少し近寄ることもして 初鏡まじまじと見てきてそこで 初鏡まじまじと見てみてもかな 初鏡まじまじと見ることもなし 初鏡近寄り難きこともなく 初鏡微笑むこともなかりけり 初鏡微笑むこともなしとせず 初鏡ほほゑむこともなしとせず 初鏡ほほゑむことのなしとせず 初鏡わがほほゑみのなしとせず	2022. 9. 19 2022. 9. 25 2022. 9. 26 2022. 9. 27
年の暮	余すところ数ふるところ年の暮	2022. 9. 23	初句会	おひらきの句屑を燃やす暖炉かな 会を終へ句屑を燃やす暖炉かな 会のあと句屑を燃やす暖炉かな 友ら帰り句屑を燃やす暖炉かな みな帰り句屑を燃やす暖炉かな 閉会の句屑を燃やす暖炉かな 初句会終へし句屑を炉に投ず	2022. 9. 26
			初湯	赤ん坊に羊水のごと初湯殿 妊りて初湯加減を赤子にも 妊りし初湯加減を赤子にも 胎の子に湯加減を聞く初湯かな 胎の子に初湯加減を聞いてをる 胎の子に初湯加減を聞く夜かな	2022. 9. 28
			読初	書初の香に包まれて読始 書初の香に包まれて読始む	2022. 9. 19